

科目名（担当教員）	ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ（小路 真木子）
テーマ	オープンデータの活用
履修条件	プログラミング（入門・実践）はぜひ履修を。 その他、いろんなことに興味を持ち、何でも積極的に取り組むこと。
テキスト・参考文献	必要に応じて指示・配布する。

◇ゼミ研究内容

小路ゼミでは、プログラミングを中心に、原則として3年周期で新しいテーマを設定しています。2016年度からは、自治体などが公開しているオープンデータの活用に取り組んでいます。今年は3年目になるので、定番以外の加工の仕方にも挑戦したいです。便利なサービスを生み出す、データの見せ方にこだわる、新たなデータの作成・公開に取り組むなど、どんな成果が出るかは、皆さんのアイデア次第。コンテスト等もおこなわれているので、意欲があるなら取り組みたいと思っています。

◇ゼミ運営方法（ゼミ修了時に求める学生の理解・達成度）

オープンデータについての学習と、データを利用したアプリ作成の実習を並行して進める予定。卒業研究は、個人またはグループで、学生自身で課題を決定します。オープンデータの意義や価値を説明できるようになったうえで、最終的には、何かのデータから、オリジナルのアイデアによるアプリを作成することを目指します。

◇ゼミ運営計画

	運営内容・ゼミナール特別活動	参考文献・課題など
ゼミナールⅠ (1回生後期)	オープンデータとJavaScriptの基礎を学ぶ。 関心に応じて、コンテストや情報系の検定、英語(TOEIC)の勉強などにも取り組む予定。	必要に応じて紹介
ゼミナールⅡ (2回生前期)	卒業研究のテーマを考え、そのために必要なことを学ぶ。 春休みまたはGW中に、一連の開発作業を通して実習してみる勉強会を予定。	同上
ゼミナールⅢ (2回生後期)	卒業研究の完成と卒論執筆に取り組む。 実作業はゼミ時間外がメインとなる。	同上

◇その他コメント（自己紹介とゼミ生への要望など）

「今まだ存在しないものを作る」のが開発系の仕事。お手本をなぞるだけでは意味がありません。必要なのは、こんなふうにしたらいいんじゃないかという想像力と、もっと良いものにするための工夫を厭わない向上心です。技術については、学ぶ意欲があればどうにでもなるので心配いりません。自分の考えを形にすることを楽しみましょう。

なお、仕事という観点では、読解力、サービス精神、スケジュール管理、報・連・相、なども重要になってきます。ゼミではこれらも意識して取り組んでください。

過去の卒業作品の一部が、小路の学内専用ホームページから見られます。

<http://www2.kyoto-econ.ac.jp/~shoji/>（ポータルの「教員研究室」から行けます）

今年度のメインはあくまでオープンデータの予定ですが、来年度はUnityでシミュレーションか、Pythonで人工知能関係をやってみようかと思っているので、そのための下調べ勉強に付き合ってくれる人も募集。

[自己紹介]

京都大学で宇宙物理学を学んでいましたが、データ解析に使用するコンピュータで遊んでいるうち、こういう仕事になりました。履修登録システムなど実用的な開発も手掛けています。基本的な性格は「猫」です。いろんな意味で（笑）。